

運営理念	『養之如春陽』 医療や福祉サービスの必要な ご利用者の皆様に対して、春の陽ざしのような 優しく暖かい思いやりの心で接します I 私たちは、ご利用者を家族と思い、真心をこめて接します II 私たちは、お互いを兄弟と思い、力を合わせてサービスを提供します III 私たちは、良質なサービスと健全な経営で、地域社会に貢献します IV 私たちは、常にご利用者の立場に立ったサービスを心がけます
	事業運営の目標
法人全体での事業運営目標	将来に向けた組織体制の強化、及び運営・経営状態の見直しと改善
	[1] 組織運営の改善と経営状態改善への取り組み ● 管理・組織体制の見直し ・ 業務及び業績改善に向けた在宅サービス管理体制一元化の検討 ・ 各種委員会組織体制の見直し ～ 全員参加型から適切な組織運営と判断ができる委員による運営への切り替え - 勤務時間内運営への変更と効率的な委員会運営の徹底 ● 営業手法の見直しと営業活動の徹底 ・ 各事業所間の情報共有と連携の強化 ～ 営業先と紹介実績についての情報一元化と分析に基づく営業活動の実施 - 連携が重要と考えられる居宅支援事業所や医療機関への集中的な営業活動 ・ 営業資料等の見直し ～ 営業ポイントの明確化、新たな営業ポイントの創出と『見える化』 ● 職員一人一人の施設・事業所への参画、営業に対する意識の向上 ・ 定期勉強会等における事業目標、運営方針教育の実施 ・ 機器や物品の適切な使用の意識付け（故障、破損の防止）、及び経費削減の意識付け ・ 『職員紹介制度』等による人材確保に対する意識付け ・ 事業運営に関わる各種委員会への確実な出席、及び委員会決定事項の迅速な提供
	[2] 業務改善に向けた生産性向上の取り組み ● 『生産性向上委員会』を中心とした施設全体における業務改善の実施 ● 業務 I C T 化への取り組みの継続 ・ 既存システムソフトウェアの活用、及び現状の問題点の抽出と検討 ・ 『生産性向上委員会』主導による I C T 関連勉強会の企画、実施 ・ 書式等の見直し、及び標準化、共用化によるデータ共有効率の向上 ・ 利用料請求のオンライン化、及び利用者・家族への情報提供のオンライン化 ● 『生産性向上委員会』による『科学的介護推進体制加算』の取得準備、及び継続的取得のための管理運営（[3]参照）
	[3] 介護サービスの質の評価と科学的介護への取り組み、及び適切な加算の取得 ● L I F E（科学的介護情報サービス）の活用、及び『科学的介護推進体制加算』の取得 ・ L I F E 用データの基本情報、アセスメント、ケアプランへの活用 ・ 上記加算取得安定後の関連加算取得の検討（排泄、褥瘡 等） ● L I F E 用データに繋がる A D L 評価法の導入 (Barthel Index)
	[4] 人材確保と人材育成のための継続的な取り組み、及び働きやすい職場環境の構築 ● 研修体系の見直しと実施 ・ 『人材育成・研修委員会』の新規発足と定期開催 ・ 同委員会による研修の企画、及びマネジメントの実施 ● 管理職種及び管理職候補に対する専門研修の実施 ・ 外部講師による定期研修の実施 ● 働きやすい職場づくりへの取り組み ・ 業務改善による、より良い『ワークライフバランス』実現の推進 ・ 年間休日数変更の検討 ～ 『リフレッシュ休暇』（有給・特別休暇扱い）の新設（年107日⇒110日）

各 部 署 ・ 事 業 所 の 目 標	● スキルアップ及び資格取得の支援 ・ 研修受講、資格取得受験に対する休日取得の配慮（有給休暇の取得を含む） ・ オンライン研修を利用した資格取得講座の実施 ● 全職員に対する自己評価の実施、及び評価に基づく個人面談の実施 ● ノーリフティングケアの定着（各部署-介護課参照）
	[5] 自ら提供するサービスに対する質の評価と業務改善への意識付け ● 事業目標に対する各部署独自の行動指針の策定 及び、年度末での結果・成果の評価と評価報告会の実施 ● 『福祉サービス第三者評価』の実施（継続課題）
	[6] 地域社会との関わりの構築、および地域貢献への取り組み ● 地域代表者や他機関等との協議機会の検討 ● 医療法人との定例会における連携機会の検討
	[7] 地域社会に開かれた社会福祉法人の運営 ● 財務諸表を含む施設情報の公表による事業運営透明性の確保 ● 苦情・相談内容等に対する適切な説明とその公表の徹底 ● 広報紙、ホームページ、その他SNS等の継続的な運用による広報活動の実施
	[1] 看護課：利用者の高齢化及び重度化に対応した安全で安心した生活の支援 ● 利用者の健康状態の把握と異常の早期発見 ・ 協力医療機関及び関連施設との連携の強化、及び情報収集とその周知徹底 ・ 利用者の重度化に伴う医療リスク、医療管理、緊急対応についての対応力向上 ～ 平時と様子が異なる場合の早期発見と迅速な報告、及び現場介護職への指導 ・ 緊急対応研修の充実、及び研修環境の整備 ● 口腔衛生管理体制の維持 ・ 協力歯科医療機関（歯科医師、歯科衛生士等）との連携 ・ 口腔衛生に関する計画書の作成と管理 ● 協力医療機関との急変時対応に関する対応書面(契約)の検討と準備
	[2] 介護課： ● ノーリフティングケアの定着 ・ 目的『利用者が安全で安心して生活できる、職員が安全で安心してケアができる』 達成のための環境整備 ・ チェックリストを用いた研修の徹底 ・ 指導者レベル職員の充実 ・ 利用者全員に対するアセスメントの実施 ～ 適切な福祉用具の選定、ケア内容の見直し ・ 腰痛調査の継続、及び調査結果に基づく対策の実施 ・ 自立支援への働きかけ ● 認知症に対する理解の向上と個々の状況に応じた適切なケアの提供 ・ 定期的な認知症ケアに関する研修の実施、及び個別的な指導の実施 ・ 認知症に関する専門的研修受講の促進 ～ 認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修 ・ 「その人らしさ」を実現するための新たな情報収集、アセスメントの検討 ● 口腔衛生管理に関するケアの強化 ・ 歯科医師及び歯科衛生士による技術的指導と指導に基づく適切な口腔ケアの実施
	[3] 栄養課：『一生懸命食べる喜びを持ち続けていただく』 ● 季節感や食文化を大切にしたい行事食の実施 ・ 季節に応じた行事の実施 ～ 月毎の行事食を毎月2回以上実施（居酒屋、お花見弁当、おせち料理 等） ● 利用者の嗜好、摂食嚥下機能、生活歴を重視した食事サービスの提供 ・ 週3回以上のミールラウンドの実施 ・ 多職種協働による栄養ケアマネジメント ● 栄養ケアマネジメントの実施、及び栄養改善の強化 ・ 施設サービスにおける強化加算の算定 ・ 通所サービスに対する栄養改善への取り組み ● スタッフのスキルアップによるサービスの質の向上 ・ 外部研修への参加等研修機会の確保、及び伝達講習の実施

各 部 署 ・ 事 業 所 の 目 標	● 業務効率化による働きやすい環境と質の高いサービス提供の両立 ・ 調理済食品の活用によるメリハリのある献立の実現（日常食と行事食の明確な区分） ・ 業務改善による持続可能な給食運営の実現
	[4] 在宅部：地域貢献と地域連携に根ざした事業運営、及び事業実績の改善 【短期入所生活介護】 ● 目標：年平均稼働率70%以上 ・ 現行営業手法の見直し ・ ロングショート利用促進のための資料の準備と積極的な情報提供 ・ 利用中の状態確認の徹底と、安全、安心できる生活の提供 ～ 事故や急変等による医療対応（入院等）への変更の予防 ・ 計画的、定期的なアクティビティの提供とその記録、 及び家族、担当介護支援専門員への情報提供
	【通所介護】 ● 目標：一日当たり利用者数20人（年度平均値） ・ 利用者満足度の向上 ～ 機能訓練としてのマシントレーニングの実施 喫茶レクリエーションの継続的な実施 情報誌の継続的な発行 ・ 利用者観察の強化による異常の早期発見と、医療連携の強化
	【訪問介護】 ● 目標：事業所としての訪問件数：20件/日以上を目標 ・ 職員一人一日当たりの活動件数4件/日を基準 ・ 安定的な職員の維持確保 ● 訪問介護員のサービスの質の向上 ・ チェックシートを利用した接遇マナーの向上 ・ 状態観察と情報共有の強化、及び業務の効率化による受入れ可能利用者数の拡充
	【居宅介護支援事業所】 ● 新体制による事業所の体制整備 ・ 主任介護支援専門員研修の受講と同資格の取得 ・ 利用者増に対応できる業務効率化の実施 ～ 使用している文書、記録等の見直し 管理ソフトウェアの効率的な利用への見直し